

5/3 早稲

生死の境でも 医療費を懸念

米ニューヨーク市内の病院の集中治療室（ICU）



護師として立ち会っていた
デリック・スミスさん(三三)
は答えが見つからなかった。

米国には国民皆保険制度がない。政府統計によると、国民の34%が高齢者や低所得者を対象にした公的医療保険に、55%が勤め先を通して民間保険に入る一方、9%の二千七十五万人が無保険者だ。男性も保険に入っていないかったとみられ、「家族や自身に借金が残るのを心配したようだ」とスミスさんは嘆く。

医療費問題を専門とする
ニューヨーク市のNPO法人「フェア・ヘルス」は三
月末、無保険者が新型コロナ
ウイルスで入院治療を受
けた場合、自己負担額が四
万二千〜七万四千ドル(四百
五十万〜七百九十万円)に
上ると試算し、米社会にあ
らためて衝撃を与えた。

無保険者が治療を受ける
のをためらえば、重症化し
たり感染を広げたり、ひい
ては医療崩壊を招きかねな
い。「生死を分ける場面で
すら医療費を気にしなけれ
ばならない。この国の構造
的な問題を物語っている」。
人工呼吸器を装着した男性
の安否をスミスさんは知ら
ないが、その「最後の言葉」
が耳から離れない。

(ニューヨーク・赤川肇)

U)。新型コロナウイルス
感染症で呼吸困難となった
患者が次から次へと運び込
まれ死んでいく中、人工呼
吸器を取りつけられようと
した男性が苦しげに声を絞
り出した。「その費用を誰
が支払うのか」。すぐ気管
挿管が必要な状態。麻酔看